

令和3年度 第1回学校運営協議会議事録概要

日時 令和3年7月6日(火) 15:00~17:00

場所 オンラインによる開催

1. 開会のあいさつ(校長)

2. 自己紹介 ※昨年度からメンバーの変更がないため割愛

3. 会長に 大阪府立大学 金野 泰幸 委員

副会長に大阪工業大学 皆川 健多郎 委員 が選出される。

4. 委嘱状伝達

5. 学校経営計画について

(1) 中期的目標

基礎学力の向上で進級率を上げる。(1年は90%、2年は95%、3年は卒業100%)

教員の生徒支援の気持ちを高め、中退防止をはかっていく。昨年度より数字は良化。

再編整備によって環境(水質など)、地元産業(刃物、溶接を引き続き)、資格取得指導に取り組み、PBL(課題解決型学習)を行う。教員の資質向上における授業改善について、アクティブラーニング実施率を25%及び、ICTを利用した授業を80%まで上げる。

(2) 本年度の取り組み

- ・少人数・朝学などで基礎学力向上している。生活指導でマナーの向上にも取り組んでいる(食べ歩き、自転車)。生徒会活動の活性化については、何とか行事を実施できるよう教員で今検討中。部活動も入部率をあげるよう取り組んでいる。(意見:生徒はイベントがないとかわいそうなのでできる限りの検討を。)
- ・工業教育の魅力発信として、本校の実情・取り組みを保護者や中学生に発信していきたい。中学校の教員からの指摘で工業高校の良さを知らない人が多いとの意見がある。(意見:工業高校の魅力を伝えるにはメディアや地域の回覧板などを活用するのも良い。)
- ・地域連携については昨年度と同様に刃物・溶接と連携。
- ・ICTの活用は進んでおり、濃厚接触者の生徒にはオンラインで指導している。
- ・令和4年度よりカリキュラムが変わる(観点別評価や教科名の変更など)。評価方法自体も変わってくる。1年ではSDGsを意識して地球環境化学などが入っている。学校設定科目では資格取得に力を入れているため、資格取得に必要な力が身につく科目を用意。来年は1~3年まで英語で展開を考えている。数学は1年で習熟度別、2年3年ではやっていない。現在2年で展開するのかしないのか検討してもらっている。

(3) 教科書の採択について

1年では来年度からの新カリキュラムの教科書になっている。大判の教科書は、図解が多いなどの選定理由で選ばれている。

6. 協議

- ・体験入学は、早い時期にあるとありがたい。いつも秋だから決めるのが難しい。1学期から始めてもらうのが一番いい。私学は1年2年も受け入れてくれる。2年生から体験に行っている子もいる。対象を1年2年に広げてくれたらありがたい。人数に余裕があるのであれば受け入れてもいいのではないかと。
- ・地域PRするのに、堺工科の壁に定時制の賞の受賞の案内があるが、そういったところに資格に関することやHPに書いてあることを貼るのも意外とみんな見ている。13号線沿いのところはよく通るからそこ

に情報発信するのも良い。学校正面は意外と通らない。全日制と定時制両方の広告が半々などで出せたら一番いい。協議していく。

- 職場見学せずに就職して離職する人は結構多いので見学は大事なのでいろいろ考えている。企業もインターンシップに代わるものが何かないかいろいろ考えている。暑い時でもその暑さを体験するのは良いと思うので、夏でもインターンシップに行くのは良い。オンライン見学会のメリットは行かなくて良いから時間短縮になる。1社しか行けなかったところ2社3社いける。Youtubeなどに事業の説明の動画などもある。そういうのを見ると学生も参考になる。
- 去年はPTA活動もほとんどできなかった。今年はできない中でも、PTAの活動をHPの中で発信できるようになった。今までは年2回の会報だけだったのが、HPに載せられるようになったことで何かあるたびに発信することができるようになった。学校がPTAにすごく協力してくれるのですごく助かっている。

7. 事務連絡

8. 閉会のあいさつ